

南米沖縄県系人向け『OKINAWA to 沖縄』ビジネスセミナー実施要項

～南米のチムグクルをウチナンチュ大会に届けよう～

1. 背景・経緯

ボリビア・オキナワ移住地から2020年1月末、20トンの大豆が「母県」に向けて出荷、沖縄県とはこれまで文化交流などでつながっていましたが、開拓67年の歴史で初の本格的な輸出、経済交流となりました。これを契機にオキナワ移住地関係者（ボリビア沖縄県人会、コロニア沖縄農牧総合協同組合、オキナワ日本ボリビア協会）は『OKINAWA TO 沖縄』プロジェクトを立ち上げました。県系人が生産するジョートウモン（良品）を沖縄県に輸出するとともに、県の企業と連携して二つの沖縄をつないだ商品開発、さらには、県の企業のボリビア・南米進出にも期待を寄せています。これまでにボリビア国内の県系人と日本（主に沖縄県）を対象にそれぞれセミナーを複数回開催、プロジェクトの賛同者を募ってきました。この『OKINAWA TO 沖縄』プロジェクトの成果は、今年10月末に開催予定の第7回世界のウチナンチュ大会の場において紹介することを目標としています。



他方、こうした県系人のビジネスはボリビアに限らず、より県系人が多い、ブラジルやペルー、アルゼンチンといった隣国において可能性が大きいと想定されます。そこで、『OKINAWA TO 沖縄』プロジェクトを南米にも広げていくことができないかと考え、南米の県系人を対象にプロジェクト概要説明ならびに意見交換を行う場を持ちたく、今回のセミナーを企画しました。



本セミナーでは、ボリビア沖縄県人会の比嘉徹会長よりプロジェクトの取り組み方針について説明、また、初輸出を実現させたボリビア「ISHIMA」社の島袋正克代表からは一連の経緯や課題について解説いただきます。さらに、大豆以外の可能性のある商品について提案したうえで、他国のウチナーブランドや輸出実績などについて情報・意見交換を行うことで、本プロジェクトを更に推進させることを目的とします。そして、南米の県系人のチムグクルを第7回世界のウチナンチュ大会に届け、盛り上げていきたいと考えています。

ムグクルを第7回世界のウチナンチュ大会に届け、盛り上げていきたいと考えています。

2. 目的：

- (1) 『OKINAWA TO 沖縄』プロジェクトを南米の沖縄県系人に周知し、今後のパートナーシップの可能性を探る。
- (2) 第7回世界のウチナンチュ大会への参画の可能性を検討する。

3. 日時：2月24日（木） 18:00 - 19:30（ペルー）、19:00 - 20:30（ボリビア）、
20:00 - 21:30（アルゼンチン、ブラジル）

4. 方式・言語： オンライン開催 (zoom)
進行言語 - スペイン語(メイン)、 同時通訳 - 日本語、ポルトガル語
5. 内容：
(1) 冒頭あいさつ (小原 JICA ボリビア所長) (10 分)
(2) 『OKINAWA TO 沖縄』プロジェクトについて
① プロジェクトの主旨説明 (比嘉ポリビア沖縄県人会長) (15 分)
(琉球朝日放送のビデオ上映含む)
② オキナワ移住地から沖縄への輸出について (島袋 ISHIMA 社代表) (20 分)
③ 『OKINAWA TO 沖縄』プロジェクトによる連携産品等の提案 (10 分)
(3) 意見交換 (30 分)
(4) 閉会あいさつ (在日本 JICA 関係者) (5 分)
6. 主な対象者：
日本への輸出経験のある、または興味のある南米の沖縄県系人・企業
加えて、他の中南米諸国やハワイ等のアメリカ合衆国の沖縄県人会も招待
7. 実施体制
主催：JICA ボリビア事務所
協力：ポリビア沖縄県人会、オキナワ日本ポリビア協会、
コロニア沖縄農牧総合協同組合(CAICO)
8. 連絡先・参加申し込み
OKINAWA TO 沖縄プロジェクト窓口 okinawatookinawa2021@gmail.com
参加申し込みフォーム <https://forms.gle/hF5NnfsVU7VQzTN29>

参考： 日本での報道状況
テレビ (沖縄 NHK, OTV, QAB, RBC)

